

# 令和4年4月定例会会議録

(令和4年4月26日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 4 月定例会会議録

- 【開催日】 令和4年4月26日（火）
- 【場所】 八代市役所本庁3階 302会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長  
渡邊 裕一 教育委員  
松永 松喜 教育委員  
奥村 留美子 教育委員  
早田 蛍 教育委員
- 【出席職員】 中 勇二 教育部長  
橋口 幸雄 教育部総括審議員兼次長  
松川 由美 教育部次長  
田中 智樹 教育部理事兼教育政策課長  
田北 佳一郎 学校教育課長  
稲本 健一 教育施設課長  
高崎 博文 生涯学習課長  
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長  
松村 哲治 教育部理事兼博物館未来の森ミュージアム副館長
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長  
浦本 美代子 教育政策課参事
- (審議事項)
- <議案案件>
- ①八市教委議第19号 八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について
- ②八市教委議第20号 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について
- <報告案件>
- ① 報告第9号 令和4年度教育部組織目標について
- ② 報告第10号 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について
1. 開会 (午後2時00分 開会)
2. 会議録の承認 令和4年2月定例会、2月臨時会(25日、28日)
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された

事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

#### 4. 議題

〈八市教委議第 19 号〉 八代市いじめ防止等対策委員会委員の委嘱について

田北学校教育課長 現在委嘱している八代市いじめ防止等対策委員会委員の異動に伴い、補欠委員を委嘱する。

質問等なし

【議案第 19 号 承認】

〈八市教委議第 20 号〉 八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について

田北学校教育課長 現在委嘱している八代市いじめ問題対策連絡協議会委員の異動に伴い、補欠委員を委嘱する。

質問等なし

【議案第 20 号 承認】

〈報告第 9 号〉 令和 4 年度教育部組織目標について

中教育部長

資料により説明

組織目標は、第 2 次八代市総合計画後期基本計画、第 3 期八代市教育振興基本計画に基づき、次代を担う子供の育成と社会全体の教育力の向上並びに充実した生涯学習環境の提供を目指すとしている。

重点施策は、第 2 次八代市総合計画における重点施策及び第 3 期八代市教育振興基本計画より次の 5 つの目標を設定している。

目標 1 ICT 教育日本一を目指した取組の充実

目標 2 子どもたち一人一人の生きる力の育成

目標 3 教育環境の整備による学校・幼稚園の教育力の向上

目標 4 学校・家庭・地域の協働による社会全体の教育力の向上

目標 5 生涯を通じた学びの場の提供

これらの 5 つの目標を設定し、市長・副市長・教育長に確認をいただいている。

奥村教育委員

重点施策について、2点質問したい。

1点目は、目標1「ICT教育日本一を目指した取組の充実」について、期限が令和5年3月31日となっている。これを達成するために、具体的目標の2点の取組を重ね、市としては、ICT教育日本一になるのはいつ頃を想定しているのか。

2点目は、目標2の具体的目標に掲げてある「八代市独自の学力・学習状況調査」について、全国学力状況調査及び熊本県学力・学習状況調査について、対象学年と対象教科をさらに追加・充実とあるが、これは全国学力状況調査及び熊本県学力・学習状況調査の対象外の学年のための市独自の調査であり、市で問題を作成するのか。対象外の教科も多くある状況において、問題はどのように準備するのか。また、全国学力状況調査は4月に実施されるため、市独自の調査は来年度になると思うが、熊本県学力・学習状況調査は12月に実施されるので、それまでに準備をするのか。市独自の調査については、2つ意見があると思う。全学年が実施すること、対象外の教科を実施することで、より一層学校が一つになってという気運づくりには貢献できると思うが、調査づくめの状況において、数値結果だけで先生たちの取組や頑張りを見てしまいがちな傾向に拍車がかからないか。

中教育部長

ICT教育日本一について、ICT教育日本一とはスローガンと考えていただきたい。具体的目標に、「学校情報化優良校」認定率100%達成としているが、全ての学校が認定されることを令和5年度中に達成することを目標としている。「学校情報化優良校」には、具体的な取組のポイントが掲げられているため、各学校でそれをイメージしながら取り組むことにより、ICTに関する活用能力を向上させてほしい。具体的に日本一になるのはいつなのかは答えにくいですが、ICT教育を推進することが目的ではない。学力充実や不登校対策などのための手段であり、これらの目的を達成するために、ICT教育日本一を目標に掲げているところである。

田北学校教育課長

本市独自の「八代市学力・学習状況調査」について、本市では、4月にNRTテスト、12月に熊本県学力・学習状況調査を実施しているが、12月の調査結果が年度末になるため、学年の中で補完するのが難しい状況である。このため、4月に中学校で5教科、小学校で4教科のテストを実施することで、本市の弱みを把握して12月に向けて学力充実に取り組むこと

ができる。また、実施する学年及び教科が増えることで、今まで見えなかった実態を把握することができ、1学期途中で判明する結果について、学校で対策を練り2学期から取り組むことができる。その取組が12月につながることで、年度内にP D C Aが2回行われることになる。重点的に取り組み、学力向上を目指したい。

奥村教育委員 4月にN R Tを全学年に実施するという事なのか。

田北学校教育課長 N R Tではない。

奥村教育委員 具体的に検討している会社はあるか。

田北学校教育課長 今年度、すでに実施している。

奥村教育委員 新しく全学年で実施される調査は、今までのN R Tを基準とするとどのような特性があるのか。

田北学校教育課長 今の学力をしっかりと見ていこうという調査になっており、応用的な部分も確認する内容となっている。

奥村教育委員 P D C Aサイクルは1年間のスパンで子どもの学力向上を図り、それを小1から中3まで積み上げていくと受け止めていた。P D C Aサイクルが年2回行われることは、テストの実施結果を踏まえて半期ごとになっている気がする。テストを含めて1年間で子どもがどう育ったかを見方をするのは少し疑問に思うが、P D C Aサイクルが効果的なものになるようにしてほしい。

また、テストの特性を学校に丁寧に説明するほうが、実施する先生たちにとっては、テストに追われて授業をするのではなく、先生自身の指導結果を振り返る素材となるのではないかと。実施のたびに、テストの性格を説明してもらえると助かると思う。

I C T教育日本一については、その取組を展開し続けることが日本一の取組になるのではないかと。新聞で、I C Tに関する先生へのアンケートの記事があり、1週間に一度も使わなかったと答えた先生が結構いたとのことであった。どう使おうか考えあぐねているということだったので、子どもだけでなく先生たちにもI C Tの使い方を優しく教える取組をお願いしたい。

渡邊教育委員

ICT教育日本一のスローガンは、とても大事なことだと思う。これを身近な部分で感じられるように、事務局職員、学校の先生たちに教育委員会の思いをしっかりと届けてほしい。そのためには、校長が丁寧に語れないといけないので、その点は指導していただきたい。

次に質問を4点。

「生涯を通じた学びの場の提供」における情報発信の強化について、具体的にどのような手段でどの程度するのか。

不登校対策について、関係する学校教育課、生涯学習課、教育サポートセンターが、各課の連携をとるために、一緒に協議や研修をする場は検討されているのか。

学校トイレの洋式化の推進について、国の平均に追いつくためにどのような取組をするのか。

幼稚園規模適正化については、今年度中に基本方針の策定を目指すということだが、義務制の学校規模については、どのような見通しであるか。

中教育部長

情報発信の強化について、それぞれの所管で、今まで不足していた点を見出し、今後どのように取り組むのか、各課に課題として検討をお願いするものである。

不登校対策について、橋口総括審議員を中心に、学校教育課、生涯学習課、教育サポートセンター及び市長部局の関係課とも連絡調整を行い、意見交換、情報交換をしながら取り組みたいと考える。

学校トイレの洋式化について、1年目に設計、2年目に施工の予算を確保することとなる。令和5年度は2校を施工予定であるが、令和5年度は4校の設計費の予算を確保する予定であり、令和6年度はこれまでの倍の施工ができる。これを2年間行うことで、66～67%まで上がると考える。5年間で国の平均が10%伸びると予測し、それに向けて取り組みたいと考える。

義務制の学校規模適正化について、状況の把握などの内部的な事務処理は、令和4年度に着手したいと考える。

松永教育委員

トイレの洋式化については、子どもたちのためにできるだけ早く、多く設置してもらいたい。

北岡教育長

財政部局とも交渉を行い、予算を確保したい。少しでも多く設計を行い、国からの補助金等があったときにすぐに対応でき

る状態にしておきたい。

奥村教育委員

地域の方々と一緒に子どもたちを育てていくための様々な組織や活動を、学校が積極的に推進するようにと指導があり、地域の方々と一緒に取り組もうという気運が高まっていると思うが、ある学校で年配の方が「このトイレは和式なので、家まで我慢して帰ろう」と言われた言葉が今でも残っている。子どもたちはもちろんだが、ボランティアで来られた地域の方にも申し訳ないと思う。先生たちのトイレが先に洋式になったら、子どもたちは自分たちのはまだなのと言うかもしれないが、手を付けられるところから確実に着手してもらいたい。

早田教育委員

不登校対応について、SNS等を見ていると、不登校をプラスに考えるような内容を目にする。今後学校に行けない、行かない子どもたちが増えるのではないかと感じている。家にいるより、外に出て大人の目に触れたほうが良いと思うのだが、八代市では、学校に戻ることがメインになっていると思う。くま川教室のような、大人の目に見える子どもの居場所が1か所しかないため、いろんな選択肢を八代市のなかで増やしてほしい。もう少し踏み込んだ抜本的な政策がないと、不登校については対応しきれなくなるのではないかと感じている。

ICT教育について、子どもたちにどのような環境を作ることが目標にあると思う。我が子を見ていると、タブレットを持って帰ってくるが全く使っていない。学校が休みになったときしか使っていないので、普段から触れるような仕組みを作っていないと、ICT教育日本一はまだまだ遠いのではないかと感じている。

八代市学力・学習状況調査について、インターネットのできるのであればインターネットで学力調査ができないのかと思う。簡単にデータも出るのではないか。

ICTの話題をずっと会議でしているが、なぜICTの話題を紙面で行うのかと疑問に思っている。データで資料を配付されると、後から見直すときに資料を探しやすいし、良ければデータで資料をもらいたい、そのようになると思う。

奥村教育委員

コロナ感染により登校できない子どもたちに対して、リモートで授業が行われているのか。そこまでしなくても、長期の休暇ではないため、授業の遅れを取り戻すことができるという状況なのか。

- 早田教育委員 我が子が通う小学校では、ZOOMの番号が配付してあり、急に学校閉鎖になった場合は、ZOOMで授業を受けるように指示してある。
- 奥村教育委員 ほとんどの学校でそのような対応ができているということなのか。
- 中教育部長 学校によっては準備ができている。
- 北岡教育長 今年度新設された教育政策課ICT教育推進係と学校教育課の職員を中学校に派遣し、先生たちにアドバイスをしながら、リモートで50分授業を4コマすることができた。新しい係も活躍している。全ての学校が対応できているわけではないが、できるだけリモートでできるような状況を作っている。
- 奥村教育委員 リモートによるオンライン授業も進んでいるということですね。ただし、オンライン授業がICT教育の目的ではないため、子どもたちの深い学びを推進するためのツールとして、タブレットを教室の中でどう使ったらいいか。そのようなツールとしてタブレットが生きていくと良いと思う。  
今年の学校訪問のテーマは何があるのか。
- 田北学校教育課長 タブレットの活用について、昨年度の学校訪問では、もっとタブレットを活用している授業を見せてほしかったという意見もあったが、職員は通常、タブレットは使っているが、あえて使わない授業もあった。タブレットは、学習のツールの一つとして、いかに使いこなせるかが大きなテーマだと考えている。ある程度の学校では、タブレットの使い分けをしている。ノートの良さもあるし、タブレットの良さもある。説明することが苦手な子どもが多いため、タブレットは根拠を示しながら、自分の考えをまとめ、発表するツールとしては長けているのではないかと考える。基本的なテーマとしては、子どもたちがいかに自分で考え、ゴールに向かっていくのかが一番重要だと考えるため、学校訪問ではそういったところを見てもらいたい。
- 北岡教育長 奥村教育委員が言われたように、タブレットはオンライン授業のために導入されたものではないが、コロナの時期と重なったために世の中の注目が集まったと思う。ICT教育は、これからの時代を生きていく子どもたちにとって、インターネット



などを使って、どう学び、どう発信していくかが必要となるということで進められたものとする。そういったことを念頭に置いて、子どもたちに指導をしてもらいたい。

また、多くの意見をいただいたので、各課においてはしっかり取り組んでももらいたい。

〈報告第 10 号〉 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について

田中教育部理事兼  
教育政策課長

臨時代理報告・八代市教育委員会職員の人事異動について資料により説明

質問等なし

4. 連絡事項

学校教育課 校長会との連携について

教育サポートセンター 教育サポートセンター事業の概要について

博物館 春の展覧会について、5/5 観覧無料について

事務局 5月定例会日程確認 (5/20 14:00～)

5. 会議録署名委員  
の指名

渡邊委員・奥村委員

6. 閉会

(午後 3 時 22 分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---